

I. 日本国政府（文部科学省）奨学金

(1) 奨学金の種類と支給内容

日本政府の奨学金には7つの種類があり、それぞれの応募資格、支給内容は次の表の通りです。

2015年度実績

種類	応募者の資格及び条件			奨学金内容			支給期間	新規採用者数
	年齢制限	募集分野	その他	月額	日本語教育	その他		
ヤング・リーダーズ・プログラム(YLP) 留学生	①③④⑤原則40歳未満 ②原則35歳未満	①行政 ②ビジネス ③法律 ④地方行政 ⑤医療行政	大学卒業者 実務経験のある者 アジア諸国等の若手の行政官等	242,000円	なし		1年	80名程度
研究留学生	35歳未満	大学において専攻した分野またはこれに関連した分野	大学卒業者・卒業見込みの者、または大学卒業と同等以上の学力があると認められた者	非正規生 143,000円 修士課程 144,000円 博士課程 145,000円 (地域加算あり)	6か月 (日本語能力の充分な者は除く)		非正規生：2年以内 正規生：標準修了年限以内 (日本語教育が必要な者は6ヶ月を加算)	2,500名程度
教員研修留学生		学校教育	大学または教員養成学校を卒業した者で、初等・中等教育機関の現職教員、自国の教員養成機関の教員及び教育行政機関の教育専門職員(ただし、在職期間を5年以上とする。)				1.5年以内	100名程度
学部留学生	17歳以上 22歳未満	(1)文科系： 文科系A：法学、政治学、教育学、社会学、文学、史学、日本語学、その他 文科系B：経済学、経営学 (2)理科系： 理科系A： 理学系(数学、物理、化学) 電子電気系(電子工学、電気工学、情報工学) 機械系(機械工学、造船学) 土木建築系(土木工学、建築工学、環境工学) 化学系(応用化学、化学工学、工業化学、繊維工学) その他(金属工学、鉱山学、商船学、生物工学) 理科系B： 農学系(農学、農芸化学、農業工学、畜産学、獣医学、林学、食品学、水産学) 保健学系(薬学、保健学、看護学) 理学系(生物学) 理科系C：医学、歯学	学校教育における12年の課程を修了した者、または高等学校に対応する学校の課程を修了した者、または見込みの者	117,000円 (地域加算あり)	1年間	*宿舎：大学が設置する留学生宿舎、公益法人等が設置する留学生宿舎等 *学費：入学検定料、入学金及び授業料は徴収しない。	5年 (医学・歯学・獣医学又は6年制の薬学専攻者は7年)	150名程度
高等専門学校留学生		機械、電気、電子、情報・通信・ネットワーク、物質・材料、建築・土木、商船、その他	高等学校に対応する学校の課程(小学校より通算11年以上の課程)を修了した者、または見込みの者				4年 (商船学専攻者は4.5年)	50名程度
専修学校留学生		工業、衛生、教育、社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養、その他	学校教育における12年の課程を修了した者、または高等学校に対応する学校の課程を修了した者、または見込みの者				3年	50名程度
日本語・日本文化研修留学生	18歳以上 30歳未満	日本語、日本文化・日本事情	大学学部に在学し日本語・日本文化に関する分野を専攻している者		なし		1年以内	500名程度

奨学金の金額及び採用人数は予算等の状況によって大きく変動する可能性がある。

(2) 出願方法

① 外務省（在外日本公館）を通じて行う方法（大使館推薦）

募集は全種類にわたります。ただし、募集対象となる種類は国・地域によって異なりますので、あなたの国・地域の日本公館で確認してください。

一次選考は書類審査、筆記試験、面接からなります。筆記試験の科目は、国・地域によって多少異なる場合がありますが、通常下記の通りです。

種類	科目
研究留学生	日本語 英語
教員研修留学生	日本語 英語
専修学校留学生	数学 英語 日本語
学部留学生	文科系：数学 英語 日本語 理科系：数学 英語 日本語 化学 物理または生物
高等専門学校留学生	数学 物理または化学 日本語 英語
日本語・日本文化研修留学生	日本語

在外日本公館は、この試験の結果にもとづき候補者を選考し、日本の文部科学省に推薦します。文部科学省は選考委員会に諮り、受入れ校と協議の上、最終合格者を決定します。留学先の学校について、候補者は希望を出すことはできますが、最終決定は文部科学省にゆだねられます。出願書類、手続き等に関しては最寄りの日本公館に問い合わせてください。

② 日本の大学を通じて行う方法

-1 渡日前の新規留学希望者を採用する場合（大学推薦）

国内の大学が、大学間交流協定等による外国人留学希望者を審査の上、研究留学生及び日本語・日本文化研修留学生の候補者として文部科学省に推薦します。文部科学省は選考委員会に諮った上、採用者を決定します。くわしくは、あなたの在籍する大学に問い合わせてください。

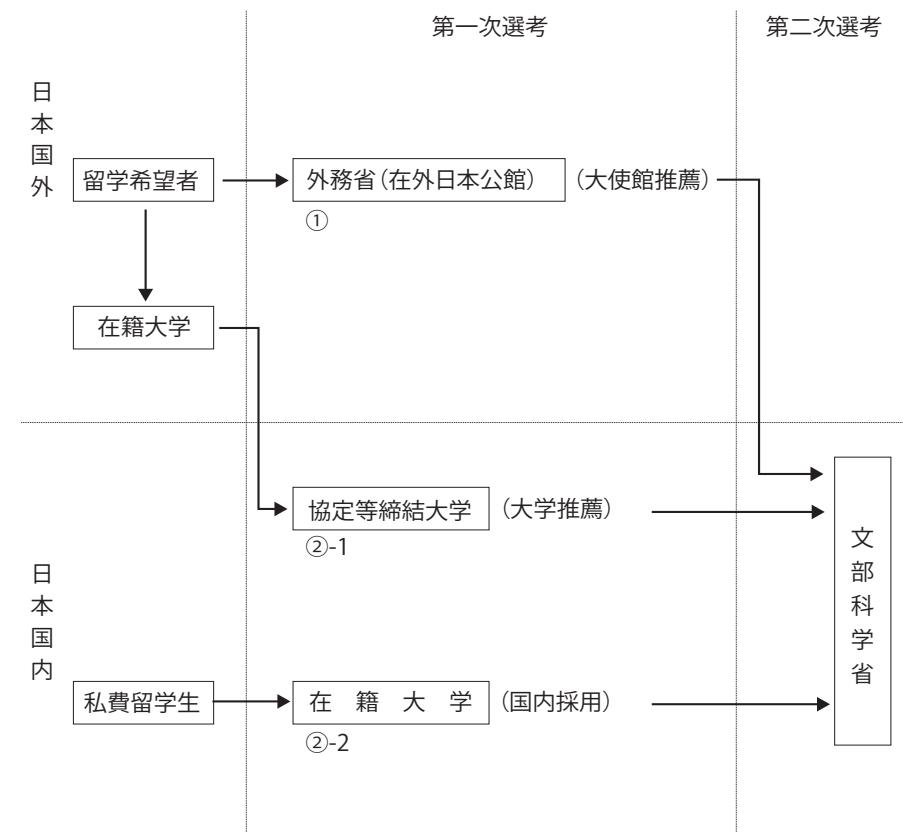
-2 在日私費留学生から採用する場合（国内採用）

日本の大学に在籍中の私費留学生が対象となります。新年度の4月に、大学院の正規生として進学見込みの者、および正規生として在学する修士課程生・博士課程生のなかから学業優秀な者が選ばれ、新年度から研究留学生として採用されます。

出願書類、手続き等に関してはあなたの在籍する大学に問い合わせてください。

応募者はこれらの第一次選考を受け、その後、日本の文部科学省による第二次選考（書類選考）を経て最終合格者が決定します。

おおよその流れは、次の図の通りです。



なお、ヤング・リーダーズ・プログラム（YLP）については、アジア諸国等の推薦機関からの推薦により、在外日本公館を通じて出願を行います。なお、選考は各受入れ大学が申請書類、面接、小論文等により第1次選考を行い、文部科学省に設置されたヤング・リーダーズ・プログラム（YLP）推進協議会による第2次選考を経て最終合格者が決定します。

(3) 募集・渡日の時期

募集・渡日の時期はあなたの出身国・地域によって異なりますが、おおよそ次の表の通りです。

	種類	募集時期	渡日（給費開始）時期
大使館推薦	研究留学生	3月頃	翌年4月または10月
	学部留学生		翌年4月
	教員研修留学生	1~2月頃	同年10月
	高等専門学校留学生	3月頃	翌年4月
	専修学校留学生		
大学推薦	日本語・日本文化研修留学生	1~2月頃	同年9月または10月
	日本語・日本文化研修留学生		
国内採用	研究留学生	11~12月頃	翌年10月
	研究留学生	10~11月頃	翌年4月

(4) 他の奨学金の併給

日本政府奨学金の受給者は、他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く。）を併給することはできません。